

京都暁星高校ウォークソンにご協力ください

2017年度 学校クリスマステーマ 《 闇に光を 》

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見た」 (イザヤ書9章1~4)

今、世界の動きは経済優先を頭においた領土拡大を掲げて、あちこちで紛争が起こっています。テロ・暴力・爆弾による破壊など、いつ何が起こるかも知れない様相を伝えるニュースが後を絶ちません。私達の心は闇に覆われます。しかしこのような世界の現実=闇の中に、今年も幼子イエスはメッセージをもって誕生して下さるのです。

京都暁星高等学校では、これまで14回のフィリピン支援のウォークソンを実施してきました。毎年、生徒と教員・保護者など約250人が参加し、またスポンサーとして約3000人の方の協力を頂くことで、フィリピンや・岩手県釜石などへの支援を継続することができました。ご協力頂いた皆様に改めて感謝申し上げます。

今年度はネパール支援を中心としたウォークソンを実施いたします。一人でも多くの方に私達の活動を知っていただき、支援にご協力いただきますようお願いいたします。

昨年のウォークソンでの主な支援先

マングローブ植林 (5,000本)	井戸建設 1基	(ルソン島)
ネパールでの水路建設プロジェクト	スカラシップ(奨学金) 2名	(ミンダナオ島)
学校支援(カマチリスデイケアセンター通路工事)	保育所建設補助	(ミンダナオ島)
フィリピンとネパールワークキャンプ活動支援	東北震災復興支援	(岩手県釜石)

今年のウォークソンで支援する予定のプロジェクト

- | | | |
|---|--------------------|----------------|
| 1 | ネパールでの水路建設プロジェクト支援 | (ネパール・ボテシパ村) |
| 2 | 井戸の建設 | (ルソン島 ヌエバエシハ州) |
| 3 | スカラシップ支援 | (ミンダナオの学生) |
| 4 | カリタス釜石の活動支援 | (東日本震災復興支援) |
| 5 | ネパールワークキャンプ活動支援 | |

11月23日(祝) ウォークソン当日 26kmを歩きます。

カトリック加悦教会堂→岩滝礼拝堂→天橋立松並木→宮津教会堂→京都暁星高等学校

12月23日(祝) 学校クリスマス (於本校) 皆様ぜひお越しください。

14:10開演

(ウォークソンの報告も致します。)

ネパールワークキャンプ (3/24~30)

生徒7名・教員2名が参加

私がこの7日間で感じた日本とネパールと比べて明らかに違うのは「水」でした。日本では蛇口をひねると水が出てくるので、太陽が毎日昇るのと同じくらいの感覚で、出ないほうがおかしいと感じると思います。でもネパールは違いました。



水が止まるのは日常茶飯事で、毎日出ると考えている人はいないと思います。日々の習慣も違って、風呂に毎日に入らない・手を洗わない・水を飲む回数すら少ない・・・まだまだ違うところはありますが、一番衝撃を受けたのは、日本人が水を必要とする



る時は**WANT**で、ネパール人の場合は**NEED**だということです。と言うのも、パイプラインの作業をして、これがつながるかどうかで救われる人がいるかもしれないと思ったからです。私達が当たり前前に口にしている水は、ネパールでは生死に関わる深刻な問題なのだと気づいたのです。

フィリピンワークキャンプ

(9/19~26)

生徒5名・教員2名が参加



カマチレス地区には、ウォーカソンで集めた資金で作った水路がありました。水路があるおかげで、デイケアセンターに通う子供達が雨の大量の水で地面がぐちゃぐちゃにならずに安全に通うことができると聞いて、実際にウォーカソンで集めた資金がこのように、遠い所で人々の役に立つように使われていることを知りました。どれだけの助けになっ

ているかを実際に見ることで、とても重要なことをしているのだと思いました。

ワークキャンプでは、マングローブの植林をしました。最初に行った場所では、以前に植林されたマングローブの除草作業をしましたが、台風によりたくさんの枯葉やプラスチックなどが付着していました。葉にゴミが少しでも付いていると、成長の妨げになると初めて知った時、このゴミを取る作業も、マングローブにとってとても大切なことだと思いました。またマングローブの苗5000本を植える作業をしました。今回僕は、フィリピンで実際にウォーカソンの募金で作った水路や道路などを見て、募金することの大切さを知り、これから募金などを通して今まで以上に協力したいと思った研修でした。

